

News from Hatsutani Chizue

Hatsutani Chizue : A member of Mopara City Assembly

平成 14 年を 男女共同参画社会 推進の年に！



女性市議サミットで

新しい年が明けたのも束の間、日々慌しく時間が過ぎ行く今日この頃です。今年は市政施行 50 周年を迎える大きな節目の年に当たり、皆様のご健勝とご多幸併せて茂原市の発展を心から祈念いたしております。

振り返ってみると、昨年は改選に伴う市議会議員選挙が行われるなど、公私共に多忙な 1 年でした。何はともあれ、健康で充実した議員活動ができました事を私自身たいへん嬉しく思っております。今年も、『地道に一歩一歩、歩んでいくことに優るものはなし』という想いで、活動して参ります。本年も、皆様方の変わらぬ暖かいご声援とご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

さて、去る 12 月 1 日に柏市で開催されました女性市議サミットには、早朝 7 時半の集合、往復 4 時間の行程にもかかわらず、この茂原市からも総勢 15 名（男性 5 名含む）の参加者を得ました。

サミットでは男女共同参画に関する様々な議論がありましたが、『男女混合名簿』もその中の 1 つでした。実はこの話題、先日行われた 12 月 12 日の議会の中でも取り上げられ、「次年度から男女混合名簿導入に向けて学校側と協議して検討してゆく」と教育長から実現に対し前向きな答弁をいただいている。私も以前から実施を要望していた経緯もあり、「やった、一歩前進！」という想いで一杯です。

男女平等はこのように身近なところから始めたいものです。いみじくも、昨年 12 月 1 日、皇太子妃雅子さまが女のお子様をご出産されました。将来、女性天皇誕生も話題になる昨今、女性の活躍を多いに期待し、議員の立場から、そのための環境整備をこれからも後押ししていきたいと思っております。

はつたに ちづえ

特集：平成13年12月議会から

平成13年第4回定例会（12月6日から20日までの会期15日間）において議論された一般質問を取り上げます。

● 長生病院長、セクハラで慰謝料判決（➡ホームページに掲載）

公立長生病院の奥山病院長が准看護婦にセクシャルハラスメント(性的嫌がらせ)をしたとして、平成13年11月30日に2審の東京高裁で、1審と同様80万円の慰謝料を支払うよう判決を受けました。この問題で、病院管理者の石井茂原市長は、平成13年12月21日、地方公務員法の信用失墜行為にあたるとして、院長に対し6ヶ月間の減給10分の1を処分として課しました。

この問題に関して、平成13年12月12日の茂原市定例議会でも、市原健二議員が次の様に質問しています。

- Q1 院長、事務局長、総婦長の3者会談の席で、罰金を公費で支払う話が出たというが事実か？
- Q2 市長は処分をどのように考えているのか？
- Q3 院長が処分された場合、大学派遣の医師を全員引き上げると聞いたが事実か？

これに対し市長は

- A1 訴訟は個人的なことで公費からの支払いはあり得ない。
- A2 処分については副管理者(長生郡6町村の首長)と相談しながら検討している。
- A3 そのような話はない。

と答弁しています。このうち3番目の答弁について、市原議員は再質問の中で再度事実関係の有無を問い合わせし、仮に医師が引き上げるならそうさせればよいと、もしも大学側の圧力があったとしてもそれに屈することはないと主張しました。病院の管理・監督権限は茂原市長にある訳ですから、この事(医師の引き上げ宣言)が事実であったとすればとんでもない話です。

職場のセクハラは、男女が対等なパートナーとしてではなく性的対象として意識されることから起るものであり、労働権の侵害行為です。また、本質的には女性の性を軽んじた人権侵害です。今回の責任を当事者、管理指導者(市町村長)が強く意識し、行政側が再発防止の具体的プランを住民に示さなければなりません。それなくして本当の信用回復はあり得ないでしょう。

● 厳しさ増す14年度予算編成（➡ホームページに掲載）

昨年の12月議会では、次期14年度予算編成についての質問が多くなされました。市財政は長びく景気低迷により歳入の根幹となる市税収入の伸び悩みや、国の構造改革の動きの中で地方交付金の見直し(減額)など市税や地方交付税を取り巻く状況は厳しい状態です。

市では、「歳入面では税外収入についても可能な限り財源を確保し、歳出面では優先順位の厳しい選択を行いながら、高率の良い予算編成を行う」と答弁しています。しかし、県より市の出資する土地開発公社が『公社経営健全化団体』(財政に対して一定基準以上の土地保有額を有し、将来負担軽減のためその処理が急がれる公社。県内では3団体が指定された※)に指定されるなど、債務の償還も重点課題であり、この中でいかに住民ニーズにあった予算編成ができるか、注目されるところであります。

※用語に関する詳しい解説はホームページ「デジタルちづえだより」をご覧ください。

はつたにちづえ公式サイトのお知らせ

はつたにちづえの公式ホームページを昨年8月に開設しました。

「ちづえだより」で伝えきれない情報はこちらに掲載しています。

アドレスは <http://www.chizue.jp/> です。この他、ヤフー検索エンジンで「はつたに」と入力して探すことができます。



Powered by Internet